

2018 年度立命館大学剣道部活動方針

目的

将来、社会に貢献できる人間の育成

社会人になり働いていく上で基盤となる力を養うためである。またこのような環境で剣道させてもらっていることに感謝の気持ちを忘れず、部活と勉学に励むことで恩返ししていく。

目標

剣道面

男子 関西大会優勝・全国大会優勝

女子 すべての大会で優勝

マネジメント面

社会に貢献できる人間性の修得

学業面

将来どのような仕事をしたいのか、どのような人間になりたいのかを考え、目標を見据え、勉学に励む。また、単位僅少者を0にする。

剣道面

目標：男子 関西大会優勝・全国大会優勝

女子 すべての大会で優勝

●具体的な取り組み

(1) ミーティング実施

月1回の全体ミーティングを行う。剣道の練習の質などを高めるために、部員全員が本気で全国で勝つという気持ちを持たないと勝てない。ミーティングを開くことの狙いは試合に対する気持ちを高めて練習の質を上げることと、部内において技術面の課題や改善点を共有するため。

(2) 部内戦・練習試合の実施

部内戦を実施し、お互い競い合える環境を作る。これによって部員の競技力の底上げを図る。また、他大学との練習試合を積極的に組んで実践的な技術と精神を身につける。

(3) 稽古内容

主将・副主将が中心となって決定し、その内容並びに意図を幹部内で共有する。幹部が理解した上で下回生にも伝え、全員が意図を理解している状況にしている。

(4) 試合に向けた調整

3週間前に体力強化メニュー、2週間前から試合練習などの実践的なメニューを行う。毎試合、調整練習期間のメニューをルーティン化することで、選手だけでなく全員がコンディション管理や試合に向けての意識統一をしやすい環境を作る。

(5) 遅刻・欠席の予防策

無断や遅刻を防ぐためにSNSを用いて部員全員が把握できるようにする。さらに、集合時間を細かく設定し防止に努める。

(6) 選手選考を行う

方法として、トーナメントやリーグ戦などその時に応じた選考を行う形をとる。それに加え、練習試合の結果、稽古への姿勢も考慮して、監督に相談の上、決定する。

マネジメント面

目標：社会に貢献できる人間性の修得

道場管理

毎週金曜日に週一回の掃除を行う。道場主任が率先して、掃除に参加し、指示する。また、更衣室や共有スペースのマナーを徹底して守り、清潔に保つ。部室の使用用途はミーティングとする。

身だしなみの管理

部則第5章第20条にある、正装の正しい着用の仕方を徹底する。また第21条にある髪型についても長髪や髪色などの指導を行う。

指導陣の防具管理

指導陣の防具の管理の徹底を図る。金曜日の掃除の際に、道場主任が管理の確認を行う。

応援態度

応援は原則立命館大学の応援席で行うものとする。試合前の全体ミーティングで応援態度について意識を再確認させる。また試合当日は統制が中心となって指示・指導を行う。

剣道部会計委員会

会計・主務・会計監査から組織され、月1回ミーティングを行う。月1回の年間スケジュール表を作成し、詳細な予定が入った場合のみ適宜日程変更を行う。

剣道部ホームページ

ホームページの行事案内、月間予定表、試合の予定などを定期的に更新し、その旨を

Facebook でお知らせする。また、Facebook に HP の URL を貼ることで、Facebook と HP をリンクさせ、一人でも多くの人にホームページを閲覧してもらえるように努める。部員紹介、指導陣紹介、過去の戦績などの更新を必要に応じて行う。入部を希望する新1回生がホームページを閲覧すると考えられるため、HPの稽古案内に衣笠キャンパスやBKC、OICの練習形式及び練習時間を掲載したりするなど、ホームページの内容を充実させていく。

学業面

目標：将来どのような仕事をしたいのか、どのような人間になりたいのかを考え、目標を見据え、勉学に励む。また、単位僅少者を0にする。

○具体的な目標、取り組み

単位僅少をゼロにする

そもそも、大学で学ぶことは恵まれたことであり、贅沢をしているといえる。その理解が足りない学生が多いように見受けられる。又、留年のリスクはかなり高い。そのため、ミーティングを通して単位取得の重要性に関して、資料をつくり定期的によびかける。

半セメスター毎にF評価が6単位以上の者に関しては、主務と個人面談を行い、改善策を個々に合わせて考え実践する。又、学習計画の提出、出席管理を行う。改善の見込みのない者は幹部・指導陣との個人面談を行う

部員の将来への可能性を広げる

体育会に所属する学生は就職活動の開始時期が周りより遅くなってしまうことが多いと感じる。その理由として、何よりも情報量の低さが考えられる。目標が明確でない者のためにも、社会で活躍されている先輩方の紹介を行っていかうと考える。又、剣道部の先輩方の就職先に限らず、可能な範囲まで紹介を行っていく。1回生から企業・業界研究をしているような環境を作ることが目標である。